

コレクション展

展示室4、透ける収蔵庫 [4F]

富山市ガラス美術館所蔵の現代ガラス作品を展示します。

社会の変化や次々に生み出された新しい価値観に呼応するような作品群が集結します。

(※作品は定期的に展示替えます。)



菅澤利雄「材料に関する本」(「本」のシリーズ)1981年
富山市ガラス美術館所蔵 撮影:末正真礼生

グラス・アート・パサージュ

[2F-4F]

富山ゆかりの作家20名による作品49点を2階から4階の展示室前や、4階の一般図書フロアに展示しています。

[観覧料無料]

(※作品は定期的に展示替えます。)



江波富士子(水)2014年
富山市ガラス美術館所蔵 撮影:末正真礼生

グラス・アート・ガーデン

[6F]

現代ガラス美術の巨匠デイル・チフリー氏によるインスタレーション(空間芸術)5作品を展示しています。チフリー氏の代表的なシリーズである「ペルシャン」、「フィオリ」、「ポート」などがご覧いただけます。



デイル・チフリー「トヤマ・フロート・ポート」2015年
H60×W917.5×D657.5cm 富山市ガラス美術館所蔵

ご利用案内

	開館時間	休館日
常設展	午前9時30分～午後6時 (金・土は午後8時まで)	第1、第3水曜日 年末年始※1
企画展		
カフェ	午前9時30分～午後7時 (金・土は午後8時まで)	第1水曜日 年末年始
ミュージアムショップ		
ギャラリー1・2	※2	※2

※1 企画展により、閉場日が異なる場合がございます。
※2 ギャラリーの開場時間及び閉場日は展覧会により異なります。詳細は展覧会主催者へお問い合わせください。
○展示室の入場時間は閉場時間の30分前までとなります。
○展示替え作業等で休館する場合があります。

観覧料

	一般(団体)	大学生(団体)
常設展		
コレクション展 (4F)	¥200 (¥160)	¥200 (¥160)
グラス・アート・ガーデン (6F)		
ルネ・ラリック展	¥700 (¥500)	¥500 (¥300)
マルタ・クロノフスカ展	¥700 (¥500)	¥500 (¥300)
企画展		
ルネ・ラリック展		
マルタ・クロノフスカ展	¥1,000※1 (¥800)	¥800 (¥500)
共通観覧券		
リノ・タリアピエトラ展	¥1,000※1 (¥800)	¥800 (¥600)
国内作家グループ展(仮)	¥700※1 (¥500)	¥500 (¥300)

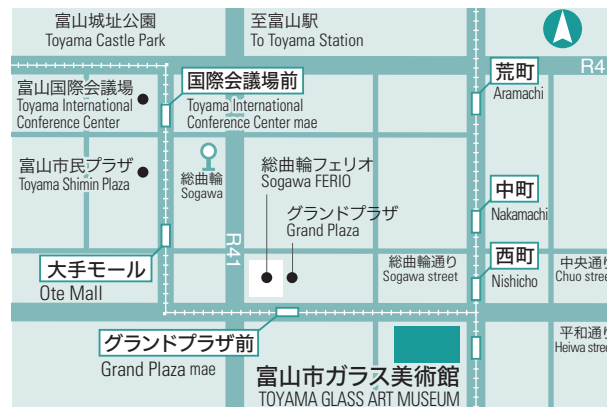
※1 前売り券の取り扱いがある観覧券です。前売り券の詳細についてはお問い合わせください。
○消費税に変動が生じた場合は、観覧料に相当額を加減する場合があります。
○常設展観覧券でコレクション展及びグラス・アート・ガーデンをご覧いただけます。
○企画展観覧券をご購入の方は常設展もご覧いただけます。 ○団体は20名以上です。

下記に該当する方は常設展及び富山市主催の企画展観覧料が無料となります。

●高校生以下の方 ●富山市に住民登録がある70歳以上の方 ●お出かけ定期券又はシルバーパスカをご提示の65歳以上の方 ●身体障害者手帳、療育手帳、又は精神障害者保健福祉手帳をご提示の方及びその介護者(1名) ●団体引率者

アクセス

〈市内電車〉 富山駅から市内電車環状線にて約12分「ランドプラザ前」下車 徒歩約2分
富山駅から市内電車南富山駅前行きにて約12分「西町」下車 徒歩約1分
〈車・観光バス〉 富山I.Cより約20分 ※専用駐車場はありません。車又は観光バスでお越しの際は周辺駐車場をご利用ください。
〈空路〉 富山空港より地鉄バス(富山空港線)にて約20分「総曲輪」下車 徒歩約4分
〈自転車〉 自転車用の駐輪場は「TOYAMA キラリ」の南東側にあります。自動二輪車はご利用いただけません。



TOYAMA 富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp
HP www.toyama-glass-art-museum.jp

2019.4 - 2020.3
年間スケジュール

1

北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック -モダン・パリのエレガンス-

展示室1・2 [2F]

2019年 4月27日[土] ▶ 9月23日[月・祝]

20世紀初頭、アール・デコのガラスを生み出したルネ・ラリック(1860-1945)は、暮らしを彩る香水瓶や大規模な建築装飾など、幅広い分野にガラスを用いることで、モダンなライフ・スタイルを提案しました。本展では、北澤美術館が所蔵するラリックのコレクションより、代表作をご紹介します。光が織りなす夢の世界をお楽しみください。



ルネ・ラリック 花瓶《ナディカ》1930年
北澤美術館所蔵 撮影: 清水 哲郎

2

MARTA KLONOWSKA Istota マルタ・クロノフスカ 不思議ないきもの

展示室3 [3F]

2019年 4月27日[土] ▶ 9月23日[月・祝]

ポーランドの作家マルタ・クロノフスカ(1964-)の日本初の個展。ヨーロッパの名画に描かれる動物や靴をモチーフに、無数の色ガラス片を用いて制作される作品は、過去と現在、理想と現実、美しさや危うさといった様々な要素を兼ね備え、人間の奥深くに潜む情感をも表します。観る者の想像力を刺激するクロノフスカの作品の魅力に迫ります。



マルタ・クロノフスカ《Garden View with a Dog after Tomas Yepes》2014年
富山市ガラス美術館所蔵 Courtesy: lorch+seidel 撮影: Eric Tschernow

3

リノ・タリアピエトラ ライフ・イン・グラス

展示室1・2・3 [2F・3F]

2019年 10月12日[土] ▶ 2020年 2月9日[日]

ヴェネチアン・ガラスの巨匠リノ・タリアピエトラ(1934-)。卓越した吹きガラス技術をもつ彼は、各地の自然や民族的な文化から着想を得て、鮮やかな色彩と伸びやかなかたちをもつ作品を生み出しています。本展では1950年代から半世紀以上に渡り制作された作品を展示し、豊かな作品表現を展開するタリアピエトラの創作活動を紹介いたします。



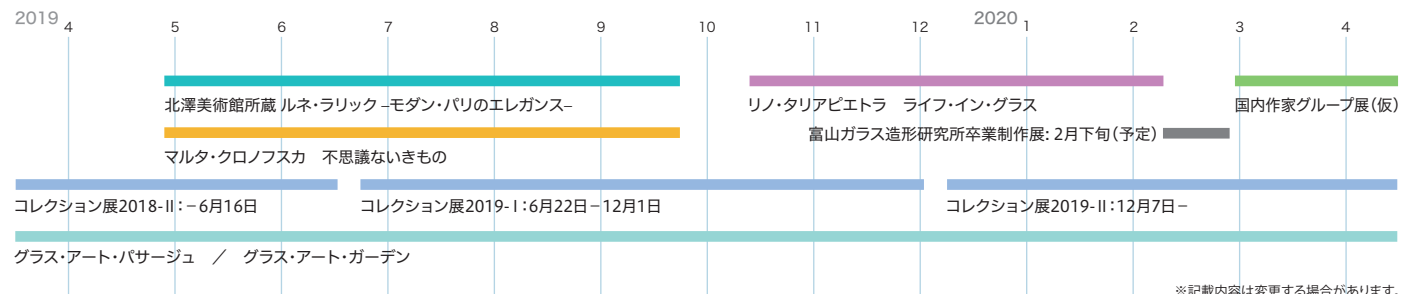
リノ・タリアピエトラ《Africa》2014年
Lino Tagliapietra Inc.所蔵 撮影: Russell Johnson

4

国内作家グループ展(仮)

展示室1・2 [2F]

2020年 2月29日[土] ▶ 6月下旬(予定)



※記載内容は変更する場合があります。